

造園とリサイクルをマッチング

グリーンアースの取り組み



マルチスプレッド工法

事業の核となるのは、植物資源材(枝葉・幹・根・草)のチップ化技術を活用することで、植物の資源循環型社会を実現させることを目的としている。その先にある新たな価値を創造することで、高い「環境品質」

グリーンアース(石井雅士代表取締役、市川市堀之内3-21-1)は、植物資源リサイクル事業を中心に、造園業とリサイクルのマッチングを図ることで、地域住民と地球環境の調和に貢献するとともに、行政など発注者には提案型の維持管理などを行うことを通じて、公共事業の適切な執行を提唱している。

「国民の税金を公共事業という使途の中でどう有効に生かすか、それを行政に提案しています。例えば、公園の管理業務は、本来であれば樹木の成長とともに予算も上がらなければならない。しかし予算は限られている。そこで、樹木資源リサイクルによる新たな提案をする。行政との情報共有によって、さまざまな可能性を生み出さず、これが血税の節約につながるのです。」

「まず会社創立の経緯からお話ください。『私自身、親の造園業に10年勤めていました。この県でもそうですが、造園業者の数は多いけれども、樹木・枝葉の処理は、左回りで、地球を音に戻すことを意味しています。どこのへい戻すかといえは江戸時代です。江戸は、究極のリサイクル社会です。自然を大切に、すべてを創り直した。』

江戸時代こそゼロエミ



インタビュー 石井 雅士 代表取締役

「その名の通り、緑の地球です。地球が緑に覆われている。緑をさらに増やしたいという願いです。造園業と農業のシヨイントをどう発展させるかが会社のコンセプトです。」

「社会のニーズは、緑の地球です。地球が緑に覆われている。緑をさらに増やしたいという願いです。造園業と農業のシヨイントをどう発展させるかが会社のコンセプトです。」

「自然の恵みから、社員はかけがえのない財産です。仕事を完遂させる信念を大事にするため、外部のコンサルタントを呼んでセミナーを行っています。社員にきっちり仕事を、リサイクルを理解してもらい、その上で動いてもらいます。自分が何をすべきか見えますか?」

樹木・枝葉活用に活路

「樹木がごみとして排出されれば、それはごみです。まずリサイクルを試みて欲しいと要望しています。国がごみの減量を推進しているのですから。リサイクル率が高まれば、住民も税負担が軽減される。私たちが公的な現場で行政の代わりに樹木を扱ってほしい。生き残りの道を模索するつもりです。」

「熟練技術者のリタイアに対して、若者が入職してない現状については、造園業の最前線の仕事に就かれています。若者が誇りを持てる業界にしなければなりません。私たちが公的な現場で行政の代わりに樹木を扱ってほしい。生き残りの道を模索するつもりです。」

社名	株式会社グリーンアース
代表者	石井雅士代表取締役
本社	〒272-0837 市川市堀之内3-21-1
電話	047-318-5200
Fax	047-318-5205
HP	http://www.g-earth.co.jp
資本金	1000万円
設立	平成13年6月25日
従業員数	28人

業務内容 植物資源リサイクル事業：移動式破碎(チップ加工)・選別、堆肥化・植生マルチングの設計施工、マルチスプレッド工法・ウッドチップフィルター工法。樹木に関わる工事：伐採・除根工事、造園工事、樹木管理。木質リサイクル製品の販売：バイオマス燃料・ウッドチップ・特殊堆肥・薪(原木)。省エネ照明器具販売：反射板・蛍光灯・水銀灯・LED

提案型で維持管理



破碎状況

案「さまざまな開発工事から排出される伐採材や根株材などを処理するに当たり、これまでの施工フローでは現場から出る枝葉・根株などの輸送費と運搬時の排出ガス発生問題、処分費用が多くなるなどの課題があった。そこで「現地破碎工法」「マルチスプレッド工法」「ウッドチップフィルター工法」を組み合わせたことで、処分費用をかけることなく自然に還元し、費用対効果をあげた。コスト削減し、健全な自然環境の復元と「ゼロエミッション」を可能にした。



マルチスプレッド工法

グリーンアースは、「植物資源材の現地破碎と新工法によるリサイクル事業」が県の経営革新計画に認定されたことから、マルチスプレッド工法などの採用による自然環境の復元などを、県はじめ発注者に対して要請している。



破碎状況

「ウッドチップフィルター工法」を導入し、高速道路やトンネル建設などにそれぞれ利用されている。これら新工法の導入で、産業廃棄物(ごみ)は発生しない、運搬費や処分費もかからず、環境への負荷も軽減できる。

▼マルチスプレッド工法 (NETIS登録工法) 郷土種を用いたマルチング(散布)ができたため(従来工法では資材として購入するため)、ごみ発生した材料は未明、健全な自然環境の復元、コストダウンが可能になる。

▼ウッドチップフィルター工法 (NETIS登録工法) 現場で製造したフィルターを現場で設置し、さらにその後、緑化にも利用できる。

▼木チップ再資源の提案(ごみ)を、現場や工場で破碎・粉砕チップ化し電力(バイオマス発電)・燃料(バイオマスボイラー)・公園・街路・学校などに資源として活用する。それが自然エネルギーとしてまた樹木資源のゼロエミッション(自然環境保護)に貢献し、地球環境を守る植物のリサイクル工法

▼木チップ再資源の提案

「チップ化技術磨く」

「植物資源材が核」

「経営革新計画に認定」

「マルチスプレッド工法」

「ウッドチップフィルター工法」

「環境品質」

チップ化技術磨く



ウッドチップフィルター工法

平成19年から同社と協力関係にある(株)タック(静岡県藤枝市)では、平成12年から新工法の「マルチスプレッド工法」を導入し、工業団地造成や空港建設などの現場でのマルチング工事に、平成21年から新工法の

経営革新計画に認定

「ウッドチップフィルター工法」を導入し、高速道路やトンネル建設などにそれぞれ利用されている。これら新工法の導入で、産業廃棄物(ごみ)は発生しない、運搬費や処分費もかからず、環境への負荷も軽減できる。

▼マルチスプレッド工法 (NETIS登録工法) 郷土種を用いたマルチング(散布)ができたため(従来工法では資材として購入するため)、ごみ発生した材料は未明、健全な自然環境の復元、コストダウンが可能になる。

▼ウッドチップフィルター工法 (NETIS登録工法) 現場で製造したフィルターを現場で設置し、さらにその後、緑化にも利用できる。

▼木チップ再資源の提案(ごみ)を、現場や工場で破碎・粉砕チップ化し電力(バイオマス発電)・燃料(バイオマスボイラー)・公園・街路・学校などに資源として活用する。それが自然エネルギーとしてまた樹木資源のゼロエミッション(自然環境保護)に貢献し、地球環境を守る植物のリサイクル工法

▼木チップ再資源の提案

「チップ化技術磨く」

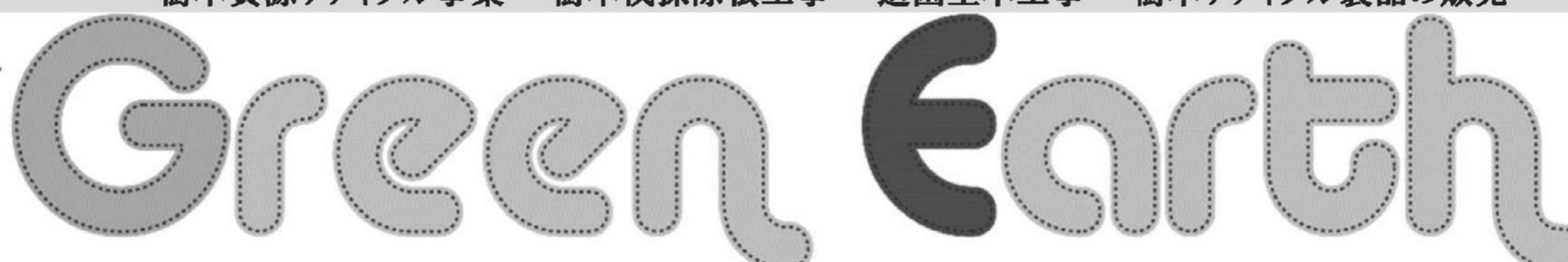
「植物資源材が核」

「経営革新計画に認定」

「マルチスプレッド工法」

「ウッドチップフィルター工法」

「環境品質」



We provide green landscape management and recycled wooden chips.

心地よき緑を刻む

株式会社グリーンアース 本社：千葉県市川市堀之内3-21-1 TEL: 047-318-5200 FAX: 047-318-5205 樹木リサイクル協会会員 印西支店【樹木再資源化施設】：印西市高西新田40 市川グリーンプラント：市川市柏井町4-299-4